

国立国会図書館所蔵

柿の葉

かきのは



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

12



住友ベークライトは幅広い分野の製品を生産・販売しており、用途も多岐にわたります。中でも特にSDGsへの貢献が大きい製品を「SDGs 貢献製品」として認定し、普及を促進することでSDGs達成に貢献しています。



スキンパック用フィルム

共押出法による多層複合フィルム・シートの包装は、生肉や加工品などの食品に直接追随・密着することで、優れた鮮度保持の効果を発揮します。また、販売に求められる包装の成形性、耐ピンホール性や酸素バリア性、透明性もクリア。商品の消費期限を延長し、フードロス削減に貢献します。

渋柿に隠された 防御力

「柿が赤くなれば医者が青くなる」の諺は、柿が熟す頃の秋は気候も落ち着き、医者が見やすくなるという意味。その柿の実力とは、ビタミンAやレモンに負けないビタミンCも多い健康に良い果実。そして葉にも、優れた力が備わっています。

奈良県の吉野地方に伝わる「柿の葉ずし」は、江戸時代に高い年貢に苦しみ一計を案じた紀州の漁師が、鯖を塩で締め吉野に行商にでかけると、地元民が祭りのごちそうに取り入れて名物になりました。

それは、酢飯に塩鯖の薄切りを載せ、渋柿の葉で包んで重石をする「押しずし」のひとつ。柿の葉の表面は、光沢のあるクチクラ層という蠟物質で覆われており、それがすし飯と塩鯖を包むラップフィルムのような役目を果たします。加えて葉に含まれるタンニンが天然の抗菌作用として働き、柿の葉ずしが傷むのを防ぎます。

海のない奈良の人々にとって塩鯖は貴重な食材であり、それを美味しく無駄なく食べるために生まれた柿の葉ずし。その知恵は住友ベークライトの「スキンパック用フィルム」の多層複合フィルム・シートの技術にも活かされています。商品の消費期限を延長し、フードロス削減に貢献します。

プラスチックのパイオニア

住友ベークライト株式会社

フィルム・シート営業本部

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天洲パークサイドビル
TEL:03-5462-4111 FAX:03-5462-4873 <https://www.sumibe.co.jp>